

Yokohama 消防女子

～女性限定就職セミナー～

神奈川県 横浜市消防局

一人でも多くの女性に“消防”を知ってもらいたい

横浜市消防局には、現在104名の女性消防職員が勤務しており、消防隊や救急隊など災害の最前線で活動しています。しかしながら、その認知度は低く、未だに消防の仕事は「屈強な男性の職場」というイメージが強いのが実情です。

そこで、そのイメージを払しょくするため、当局で活躍している女性消防職員から直接話を聞いたり、普段見ることができない施設（女性の当直スペース等）を見ることで参加者が消防士として働くことがイメージできる内容とした女性限定の就職セミナーを開催するに至りました。



今回の就職セミナーで対応した横浜の「消防女子!!」

全国各地から申込み

初めての試みでどのくらいの申込みがあるか不安であったこともあり、定員を25名として募集を開始しました。広報手段としては、募集ポスターの掲載、ホームページへ情報掲載、ツイッター発信、専門学校等での広報活動を実施した結果、定員を上回る申込みがありました。当日は、全国各地から28人の女性が参加されました。

当日の様子は、横浜市消防局ホームページ（就職セミナー情報）に掲載しております。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/saiyou/seminar/>



募集ポスター

小説「消防女子!!」とのコラボレーション

女性限定就職セミナーを開催するにあたり、小説「消防女子!!」とのコラボレーションが実現しました。「消防女子!!」は、佐藤青南氏原作の小説（宝島社「このミステリーがすごい!」大賞シリーズ）であり、横浜消防を舞台に主人公の女性消防士が活躍する物語で、漫画化（竹書房）もされています。

「消防女子!!」を、今回の就職セミナーのキャッチフレーズとして、また漫画家の上遠野洋一氏によるイラストの使用についても承諾していただき、横浜市消防局×消防女子!!のコラボポスターも制作しました。当日は、佐藤さんご本人もセミナーにご参加いただき、参加者からサインを求められるシーンもありました。



「消防女子!!」コラボポスターを囲む人事課スタッフ

当日のスケジュール

- 10:00 ～横浜市消防局概要説明
- 10:45 ～消防車両見学
- 11:30 ～救助隊訓練見学
- 12:00 ～昼食（横浜名物 崎陽軒のお弁当を準備）
横浜市消防音楽隊コンサート
はしご車搭乗体験
防火衣着装体験
- 横浜市民防災センター見学
- 13:30 ～横浜市消防司令センター見学
- 14:00 ～消防クイズ（移動中のバス車内にて）

- 14:30 ～横浜市緑消防署施設見学
- 15:00 ～参加者と女性消防職員とのディスカッション
テーマ「横浜消防のココが聞きたい！」
- 16:00 ～記念撮影、個別相談



横浜市消防局の概要説明時の様子



消防車両見学時に資機材に触れる参加者

何より大切にしたもの 「参加者とのコミュニケーション」

このセミナーに対応した女性消防職員は、事前に採用広報のプレゼンテーションやコミュニケーションの研修に参加しました。当日、横浜消防に興味をもって来ていただく皆さんに、横浜の良さ、消防という仕事のやりがいをお伝えしたい、そのために参加者に何ができるのかを考えました。

当日は、女性職員から参加者に積極的に声を掛けるな

ど、参加者がリラックスできるように心がけました。移動のバス車内では、当たるとプレゼント（Yokohama Fire Card）がもらえる「消防クイズ」を実施し、移動中であってもコミュニケーションが図られました。



Yokohama Fire Card 全20種類

アンケートの結果、一番好評だったのが女性消防職員とのディスカッションの時間でした。その時間だけは女性だけの空間にするために、男性職員は全員退出しました。

ディスカッションの中では、「消防の仕事をしていて、女性だからよかったと思ったことは何ですか?」「女性の消防士としてのキャリアビジョンは?」「育児休暇、産休の制度はどうなっていますか?」など、女性に特化した質問が多く、中には「消防女子はモテますか?」といった本音の質問もありました。



たくさんのポストイットに書かれた質問に答える

効果～翌年度の受験者数増加～

セミナー実施後の職員採用試験（大学卒程度）では、女性の受験者が前年比約2.4倍となりました。セミナーに参加していただいた方や横浜消防の取組みを見ていただいた方が受験されたと信じています。今後も、消防という仕事に興味を持ってもらうため、女性限定の就職セミナーを開催していきたいと考えています。



全参加者、横浜の「消防女子!!」と一緒に記念写真